

宮崎県東臼杵農林振興局長 様

要 望 書



令和8年7月27日

日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会

会長（日向市議会議長） 日 高 和 広



要 望 書

日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会では、当圏域の直面する課題について慎重審議の結果、別紙のとおり採択しました。

つきましては、その速やかなる実現に格別のご高配を賜りますよう要望します。

令和8年7月27日

日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会

会 長 日向市議会議長 日 高 和 広

副 会 長 門川町議会議長 森 誠 一

監 事 諸塚村議会議長 田 原 尚 美

美郷町議会議長 山 本 文 男

椎葉村議会議長 岡 村 正 司

目 次

No.	要 望 事 項 件 名	頁
1	森林・林業・木材振興対策について	1

森林・林業・木材振興対策について

森林は、国土の保全、水源涵養、地球温暖化の防止、木材の生産等の多面的機能を有しています。近年、気候変動に伴う激甚な気象災害が常態化する中、森林の維持・管理は喫緊の課題となっています。

本県においては、先人達の献身的な努力により、戦後造林された人工林はスギを中心に豊かな蓄積量を誇っています。スギ素材生産量において長年にわたり全国首位を維持し続けるなど、日本を代表する林業県としての地位を確立してきました。

現在、この豊富な森林資源を最大限活用し、伐採後の確実な再造林による「循環型林業」を確立する事が求められています。あわせて、川上から川下までをデータでつなぐデジタル化の推進や、公平かつ効率的なサプライチェーンの構築は、林業・木材産業を自立した成長産業へと進化させるうえで極めて重要な局面を迎えています。

しかしながら、森林を支える中山間地域では、人口減少と高齢化に伴う担い手不足が加速しており、生産基盤の脆弱化が懸念されています。加えて、伐採期の到来による事業量の増大に対し、労働力の確保や生産性の向上が追いつかず、森林整備受託体制も非常に厳しい状況にあります。森林環境譲与税の活用や脱炭素社会の実現に向けた動きは、林業の価値を再評価する大きな好機ですが、再造林コストの増大や不在村森林所有者の増加など、現場が直面する課題は依然として深刻です。

つきましては、中山間地域の活力維持に直結する森林・林業、木材産業の振興に向け、下記事項について特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 林業担い手の育成・確保は、単なる産業労働力の維持に留まらず、中山間地域の維持そのものであることから、林業の魅力向上、労働環境の改善、職場環境の整備に配慮すること。
- 2 安定した木材流通や木材取引の透明性を高めるため、森林デジタルトランスフォーメーションやサプライチェーンマネジメントの構築を推進すること。
- 3 再造林率向上強化対策事業においては、循環型林業の確立に向け、伐採後の再造林を安定的に実施できるよう恒久的な事業とすること。
- 4 森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるため、針葉樹と広葉樹がバランスよく配置された「多様な森林づくり」を推進すること。特に適地における広葉樹の植栽や天然更新の活用に対し、再造林支援の拡充や鹿被害対策への重点的な助成を講じられたい。